

海外ビジネス情報



上海

中国輸入博覧会を視察

北陸銀行 国際部
上海駐在員事務所
陳 潔

1. はじめに

2025年11月5日から10日にかけて、上海で第8回中国輸入博覧会が開催されました。本博覧会は、中国における輸入拡大を目的として毎年開催されており、今回は138の国や地域から4,108の企業・団体が出展しました。日本からも「自動車」、「電子部品」、「食品」、「化粧品」、「金融」等、様々な分野から約320社・団体が参加しました。

2. 博覧会の特徴

今回の博覧会の注目ポイントは以下の3点です。

(1) イノベーション成果の初公開

461件の新製品・新技術・新サービスが発表されました。バイオ医薬品、グリーン低炭素技術、人工知能、人工ロボットなど先端分野の展示が目立ち、世界最速の健康診断装置や世界最小のX線装置、世界最軽量の大画面折りたたみスマートフォンなどが初披露されました。中国の巨大市場がグローバルイノベーションの実験場・応用の場・利益の場として注目されている様子がうかがえました。



空中タクシー(Evtol)

(2) 消費トレンドに沿った展示

消費者ニーズに焦点を当てた展示も多く、医療展示エリアでは「シニア経済」に着目し、スマート補聴器、スマート睡眠システム、介護ロボットなど高齢者向けの製品やサービスが紹介され、人気を集めていました。さらに、低炭素食やスマートフィットネスなど、多様化する健康志向ニーズに応える製品の展示もありました。

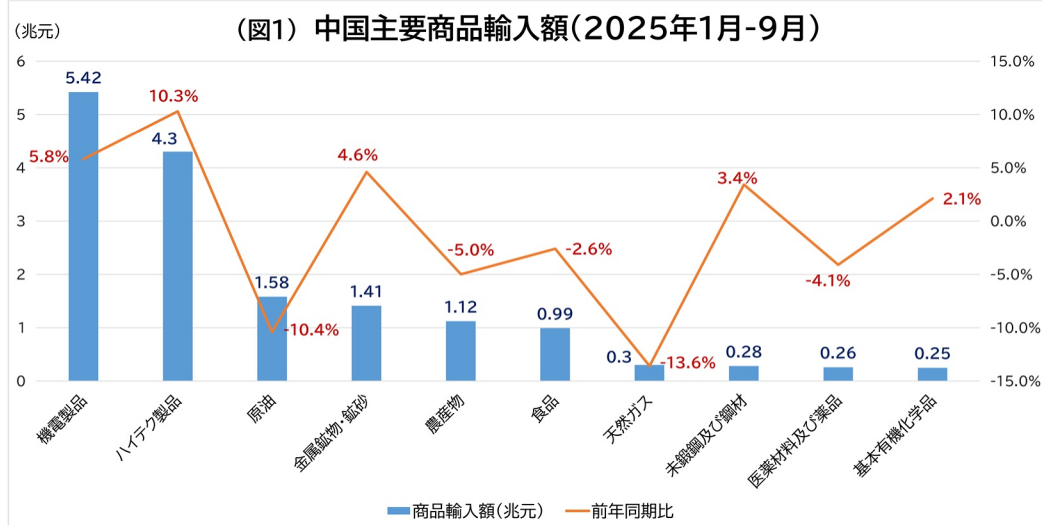
テスラの人型ロボット
(上・下写真:筆者撮影)

(3) トップ企業の集結

約100社の大型多国籍企業や大手商工会議所の責任者が集まり、さらに業界トップ企業10社の会長やCEOが合同で会場を訪れ、活発な交流が行われました。

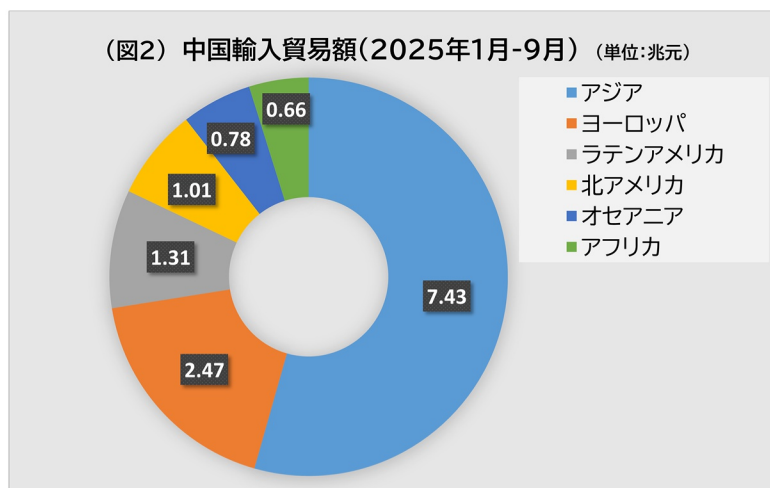
3. 中国の商品輸入について

2025年第3四半期までの機電製品の累計輸入額は5.4兆元（約108兆円）に達し、前年同期比5.8%増加しました。中でも電子部品の輸入額が高く、前年同期比8.8%増の2.4兆元（約48兆円）となっています。船舶、航空機、その他ハイエンド装備の輸入も際立っています。



【新京新聞のデータより上海事務所作成】

輸入国別では、日本と韓国が依然として中国の最大輸入貿易国であり、2025年第3四半期までのアジア圏からの輸入額は7.4兆元（約148兆円、前年同期比4.2%増）となりました。さらに、金、クロム、鉄、銅を始めとした鉱物資源を南アフリカやコンゴなどのアフリカ諸国から輸入しており、中国の商品輸入先は多国化しつつあります。



【中国税関のデータより上海事務所作成】

4. おわりに

今回の博覧会では、多様化する消費者ニーズや高齢化社会への対応、環境配慮型製品の開発などグローバルな課題に対するソリューションが数多く提案されており、世界の企業が中国の巨大市場に強い関心を持ち、積極的に新技術や新製品を投入している様子が印象的でした。今後も国際的な展示会を通じて、各国企業との交流や最新動向の把握に努め、持続可能な成長とイノベーションの実現に向けて積極的に取り組んでいくことが重要だと感じました。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
 〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
 ((株)人材情報センター内)
 TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
 E-mail: info@chojo-hokugin.jp